新幹工業 株式会社

妥協なき品質の追求で電力インフラを支える

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット

高品質な製品を生み出す製造現場

主な事業内容
電力インフラ向け資機材、使用工具の製造・販売

主な取引先(納入先)
電力会社および電気工事会社など

主な製品
電線被覆剥ぎ取り器、電線落線防止用資機材、鳥害防止用資機材

業務内容

120アイテム以上の品揃えが信頼を生む

新幹工業は昭和42年の創業以来、電力インフラに付随した製品を手がける。当初は電柱に取り付ける変圧器の付属品や鳥害対策製品が中心だった。以降、断線に伴う落線防止用資機材などの販売、現在では約20年前に開発した電線被覆剥ぎ取り器などが主力となっており、電線の種類やサイズ、被覆タイプに応じて30機種をラインアップする。電力設備の変遷に伴って新たな作業が生まれるたびに開発製品も増え、今では120アイテム以上を品揃えするほか、年間10件程度、顧客の要望に沿ったニッチな製品の開発にも取り組む。それが「頼めば何とかしてもらえる」と顧客からの信頼につながるとともに、汎用品拡大にも寄与している。

強み

一貫生産体制を確立し、欠品・納期遅れゼロに

製品開発には施工者の使い勝手を意識した知恵と工夫が盛り込まれている。剥ぎ取り器の刃物が円形になっているのは、刃こぼれして90度回転させることで新たな刃に変わり、長寿命化につながっているほか、取っ手のボールの色で対応サイズがわかることなどが代表的。さらに、受注から原材料入荷・製図・製造・検査・出荷の一貫生産体制を確立していることも強みで、"欠品ゼロ、納期遅れゼロ"を継続する。そこには日々研修や訓練を繰り返し、業務の互換性を身に付けることで部門間連携が円滑になり、社員一人ひとりが大きな戦力になっているからだ。

品質管理

頼りにされ応えることが喜びと次への活力

災害や事故などの事象が発生し、電力供給が滞ればライフラインに大きな影響を与える。それゆえに電力会社などからの要求は厳しい。同社の品質管理・検査への徹底ぶりには目を見張るものがあり、ISO9001の取得をはじめ、あくなき品質の追求に妥協の文字はない。

品質へのこだわりは社員にも浸透し、普段の業務から当たり前になっている。西尾佳晃社長は「だからこそインフラ設備の製造に関われ、電力使用者への貢献につながる」と胸を張る。同社は、いわゆる"縁の下の力持ち"的存在だが、西尾社長は「必要な人に頼りにされ、それに全力で応えることが、喜びと次への活力になる」と強調する。

社長あいさつ

代表取締役社長
西尾 佳晃さん

顧客ニーズに対し、いかにスピーディーに動けるかが重要です。ニーズの汲み取りを行い、その都度、改良を加え製品精度を高め、長く効果を発揮させることに気を配っています。これこそ、ものづくり企業の楽しみでもあり、規模は小さくても頼りがいのある企業でありたいと思っています。

主な保有設備

- 汎用旋盤 OF82
  ヤマザキマザック製 1台
- 立型汎用フライス盤 KVJP-55
  牧野フライス製作所製 1台
- 卓上ボール盤 KD-4300
  日立工機製 1台
- ワイヤーストリッパー AWS-41
  新明和工業製 1台
- 総合試験器
  園田計器製 1台

大阪04 大阪04 ISO 9001

住　所／〒555-0011
大阪市西淀川区
竹島3-4-15
TEL／06-6471-0748
FAX／06-6474-5145
創　業／昭和42年4月
設　立／昭和42年7月
資本金／1,000万円
従業員／8名

CADを用いて製作図面を作成

電力インフラ用製品群

https://shinkan-kogyo.jp/